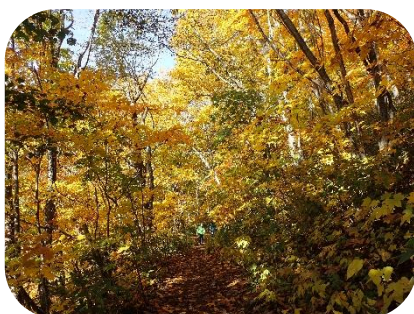


## 山岳部 公共交通機関を活用して紅葉とロングワークを楽しんだ手稲山縦走。 (10月16日(日))

今回は顧問の車での移動ではなく、公共交通機関を利用して山に登る企画。精鋭部員3名のみの参加で、現在の岩東山岳部の実力そのものを反映した参加率。そんなことはお構いなく、天候に恵まれ、紅葉の美しさを満喫することのできる充実した山行になった。札幌琴似駅に集合し、バスで平和の滝入口に移動。登山口まで歩き、平和の滝で記念写真。紅葉目当ての登山客で駐車場はすでに満員御礼。9時登山口出発。紅葉は見頃で、赤や黄色の色彩鮮やかな風景が我々を大いに楽しませてくれた。難所の岩場を経てたどり着いた賑わう山頂神社で厳かに拝礼。昼食後は大都会札幌の街並みを眺めながらスキー場コースを下る。五輪を偲ぶ廃墟にて「虹と雪のパレード」をYou Tubeで聴いたが、もう50年も経つのだと改めて時の流れに思いを馳せる。ほとんど人のいない北尾根に入ると起伏の少ない道が長々と続く。熊の落とし物に多数出会うが、鈴を鳴らして快調に進む。やがて小沢を経て住宅街を横目に山道をアップダウン。総山行時間5時間で、北尾根登山口到着。ここで今回同伴した真嶋Tと別れ、札幌手稲駅へ。目標とする「自律した登山者」への貴重な経験をした3名の精鋭部員は、一層逞しさを増す山行となったのであった。



平和の滝で記念写真



美しい紅葉



布敷ノ滝



難所の岩場を登る



手稲山山頂



スキー場の下りでは大都会札幌の街がよく見える



「虹と雪のパレード」が心に沁みる